３月６日（木）１０時から受付開始、【７月期】は６月３日（火）１０時から受付開始
□金額には消費税が含まれています。
□休館日等により、特定週が変更になる場合があります。複数の講座をご受講される場合は日程の重複にご注意ください。
□講義日時欄の※印は特定週が変更となっております。
□《3か月講座》は3か月毎に受講料をお支払いただきます。

| | | |
|---|---|---|
| 講座名 | **伊勢物語を読む** | |
| 講師名 | 瀧口　泰行<br>（古典学者、常磐短期大学名誉教授） | |
| 講義日時 | 第２、第４木曜　１３時～１５時 | |
| | ①4/10　②4/24　③5/8　④5/22　⑤6/12<br>⑥6/26　⑦7/10　⑧7/24　⑨8/28　⑩9/11 | |
| 受講料<br>（10回分） | 会員　17,600 円 | |
| | 一般　20,900 円 | |
| 講座内容 | | |
| 伊勢物語は勢語・源語(源氏物語)と並び称され親しまれてきました。その主人公在原業平は、万葉集の編集にもゆかりのある平城天皇の孫で、紀貫之が古今集を編むとき、国風復興の旗手として、六歌仙の一人にかかげられました。この業平の一代記ともいうべきものが伊勢物語です。<br>物語といっても大筋の流れで語られたものではなく、業平の歌を中心としてその成立のいきさつをといたものです。したがってその歌の面白さを一段毎に伝えています。歌をつくるための“うひまなび”の物語として必読のテキストだったのです。そのために約１２０段の人間関係と歌の贈答でできあがっています。平安貴族にとっては高貴な業平を通して宮廷生活の“みやび”を学ぶことができたのです。<br>平安時代の歌を鑑賞する時、歌人達の心にあった男と女のありようを理解しようとするためには、親しみたい物語です。源氏物語に先立つ、王孫(皇族)の物語として注目され、選り好みしない“いろこのみ”は理想の男性像としても描かれています。 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 講座名 | **万葉の歌人たち**　《3か月講座》 | |
| 講師名 | 瀧口　泰行<br>（古典学者、常磐短期大学名誉教授） | NO　IMAGE |
| 講義日時 | 木曜　１０時～１２時 | |
| 4月期<br>（4月～6月） | ①4/3　②4/10　③4/17　④4/24　⑤5/8<br>⑥5/15　⑦5/22　⑧6/5　⑨6/12　⑩6/26 | |
| 7月期<br>（7月～9月） | ①7/3　②7/ 10　③7/17　④7/24　⑤8/7<br>⑥8/21　⑦8/28　⑧9/4　⑨9/11　⑩9/18 | |
| 受講料<br>（１０回分） | 会員　17,600 円 | |
| | 一般　19,250 円 | |
| テキスト | 『万葉集』（お手持ちのもの） | |
| 講座内容 | | |
| 二百五十年以上の歴史を重ねる万葉集の集大成をなした大伴家持。天武皇統終焉の中で大伴一族を率いる家持は誇りと哀感を歌う。その足跡を大伴家持の歌日記ともいうべき巻17から巻20を中心に講読します。家持に影響を与えた山部赤人の自然描写などと比較しながら家持の歌風の“長高”（たけのたかさ）を探ります。朝廷の官人としての家持の心の動きや、人間家持のこまやかな感情がどのようなことばによって表現されてくるのかをたずねてみましょう。 | | |

| 講座名 | **古事記を読む** |
|---|---|
| 講師名 | 瀧口　泰行<br>（古典学者、常磐短期大学名誉教授） |
| 講義日時 | 第2、第4土曜　10時～12時 |
| | ①4/12　②4/26　③5/10　④5/24　⑤6/14<br>⑥6/28　⑦7/12　⑧7/26　⑨8/23　⑩9/13 |
| 受講料 | 会員　17,600 円 |
| （10回分） | 一般　20,900 円 |
| テキスト | 『古事記』（お手持ちのもの） |

講座内容

古事記はなぜ書かれたのだろうか。王はどのように発生したのであろうか。古事記は大和王権の出発と共にそれらを語っています。

王と王権との成立については、様々な理論による想定が現在主流となっていますが、大和地方を中心とした王権の権力発生要因とその経済的基盤については、具体的に解明されていないのが現状です。雄略天皇の頃の大王権の卓越性は鉄生産と鉄輸入の件を要因として論じられていますが、それ以前の王権と他豪族との差別化と、当然のことながらそれにともなう、権力を支える基盤である武力と経済力がどのように存在したのかは、いまだ不明です。しかし、古事記の資料となったものに「帝紀」や「旧辞」とよばれるものがあり、それを天武天皇御自身が修正・撰録して、それを統合して編集したものが原古事記として伝えられていたのです。これを上表文と共に三巻に成して和銅四年（712）に太安万侶が献上しました。＜原古事記＞が現古事記になるまでの期間は約三ヵ月でした。つまり古事記の世界は天武朝以前の王権のありようを語っているのです。これらの点に留意して講読します。

| 講座名 | **ともに読む『源氏物語』** |
|---|---|
| 講師名 | 内山　雅子<br>（古典文学研究家） |
| 講義日時 | 第1、第3火曜　10時～12時 |
| | ①4/1　②4/15　③5/20　④6/3　⑤6/17<br>⑥7/1　⑦7/15　⑧8/5　⑨8/19　⑩9/2 |
| 受講料 | 会員　17,600 円 |
| （10回分） | 一般　20,900 円 |

講座内容

『源氏物語』はどのようにつむぎだされ、何を語っているのか？千年という時を隔てた王朝の女性たちの思いを原文の中に読み解き、『源氏物語』の新たな魅力をともに探りましょう。

桐壺の巻から読み始めた本講座も、宇治の世界に入り、いよいよ浮舟の物語に入ります。『源氏物語』はどこから読んでも面白く読むことができます。浮舟の物語を読み進めながら、『源氏物語』が見つめ続けた世界を、ご一緒に読み解いてまいりましょう。

| 講座名 | 芭蕉講座・「奥の細道」を読む | |
|---|---|---|
| 講師名 | 今瀬　剛一<br>（俳人・俳誌「対岸」主宰） | |
| 講義日時 | 第1水曜　10時30分～12時 | |
| | ①4/2　②5/7　③6/4<br>④7/2　⑤8/6　⑥9/3 | |
| 受講料<br>（6回分） | 会員　13,200 円 | |
| | 一般　16,500 円 | |
| 講座内容 | | |
| 松尾芭蕉の「奥の細道」を丁寧に読んでみませんか。そして、約五ヶ月、六百里に及んだ旅の意味を探ってみましょう。特に文中の六十二句の作品を深く鑑賞したいと思います。<br>どうぞご参加ください。 | | |

| 講座名 | 俳句を詠む | |
|---|---|---|
| 講師名 | 今瀬　剛一<br>（俳人・俳誌「対岸」主宰） | NO　IMAGE |
| 講義日時 | 第1水曜　13時～15時 | |
| | ①4/2　②5/7　③6/4<br>④7/2　⑤8/6　⑥9/3 | |
| 受講料<br>（6回分） | 会員　13,200 円 | |
| | 一般　16,500 円 | |
| 講座内容 | | |
| 俳句は日常生活の中の感動を書きとめればいいのです。この講座ではその書きとめる方法を分かりやすく指導します。初心者歓迎。 | | |

| 講座名 | 俳句を楽しむ【午前クラス／午後クラス】 | |
|---|---|---|
| 講師名 | 岡崎　桂子<br>（俳人協会評議員） | |
| 講義日時 | 第2金曜 | |
| | （午前クラス）　10時～12時 | |
| | （午後クラス）　13時～15時 | |
| | ①4/11　②5/9　③6/13<br>④7/11　⑤8/8　⑥9/12 | |
| 受講料<br>（6回分） | 会員　13,200 円 | |
| | 一般　16,500 円 | |
| 教材費 | 858円（6回分） | |
| 講座内容 | | |
| 自然の風景、ご家族やご自身のことを俳句に詠んでみましょう。俳句の基本、鑑賞の仕方などを中心に受講生の皆さんと一緒に全作品を講評します。初心者の方歓迎します。 | | |

| 講座名 | **短歌を楽しむ** | |
|---|---|---|
| 講師名 | 小泉　史昭<br>（現代歌人協会会員） | |
| 講義日時 | 第２木曜　１０時～１２時　　※第３週 | |
| | ①4/10　　②5/8　　③6/12<br>④7/10　※⑤8/21　　⑥9/11 | |
| 受講料<br>（６回分） | 会員　13,200 円 | |
| | 一般　16,500 円 | |
| 講座内容 | | |
| 短歌はだれでも作れる日本古来の文芸です。実作を中心に実力アップを目指しながら、あわせて近・現代の秀歌を鑑賞し楽しく学んでゆきます。 | | |

| 講座名 | **唐代名詩に親しむ** | |
|---|---|---|
| 講師名 | 大地　武雄<br>（二松学舎大学名誉教授） | |
| 講義日時 | 第２火曜　１３時３０分～１５時３０分 | |
| | ①4/8　②5/13　③6/10<br>④7/8　⑤8/12　⑥9/9 | |
| 受講料<br>（６回分） | 会員　10,560 円 | |
| | 一般　12,540 円 | |
| 講座内容 | | |
| 唐代の名詩には、季節の変化や友との別れ、旅の苦しさ、酒宴の楽しさ、人生の儚さ等当時の人々の喜怒哀楽が見事に詠じられています。時に地図と写真を使って読む人を感動させる名詩を心ゆくまで鑑賞します。 | | |

| 講座名 | **東アジア史を「漢文」で学ぶ** | |
|---|---|---|
| 講師名 | 井澤　耕一<br>（茨城大学人文社会科学部教授） | |
| 講義日時 | 第１、第４水曜 １３時３０分～１５時３０分 | |
| | ①4/2　②4/23　③5/7　④5/28　⑤6/4<br>⑥6/25　⑦7/2　⑧7/23　⑨8/27　⑩9/3 | |
| 受講料<br>（１０回分） | 会員　17,600 円 | |
| | 一般　20,900 円 | |
| 講座内容 | | |
| 本講座では、中国・朝鮮・日本などの漢文文献などを精読し、それを通して東アジア諸国の歴史・文化・文学などを広く、深くそして楽しく学んでいきます。 | | |